

／くらし大変なのに／

大村知事の「深掘り」行革で



子どもの医療費無料も見直し!?

大村愛知県知事は、行革を深掘りする「重点改革プログラム（素案）」で2014年度の新制度開始をめざし、福祉医療制度の見直し（一部負担金導入など）を検討。見直しに向け市町村と協議することを明らかにしました。



福祉医療制度って？

福祉医療制度とは、障害者、母子・父子家庭、高齢者や子どもが、経済的な理由から必要な医療を受ける機会を損なうことがないよう、保健医療制度における自己負担部分を公費で負担する制度です。

どれも住民運動で勝ちとってきたかけがえない制度です。

福祉医療	2011年度予算額	対象人員(10年度)
子ども医療事業費(窓口負担ゼロ)	81億円	508,000 人
母子・父子家庭医療事業費	21億円	123,000 人
障害者医療事業費	67億円	97,000 人
後期高齢者福祉医療給付事業費	55億円	110,000 人

「見直し」でどうなるの？

どの事業も実施の主体は市町村ですが、県は2分の1の補助金を出しています。県が予算の削減や一部負担金を導入すれば医療費無料制度が崩れてしまいます。



狙いは大型開発の財源づくり

大村知事は「世界と闘う愛知」へ人・物・金を集中させるとしています。「見直し」の狙いはその財源づくりです。県民への負担増は消費の低下を招き、景気も回復できないのは明らかです。

一緒に 福祉医療守れの声を広げましょう

今は住民の声が政治を動かす時代です。福祉医療守れの声を大きく広げて、大村県政の悪政をストップさせましょう。

●真実がわかる 明日が見える—「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。（日刊紙3400円/日曜版800円）

国政事務所ニュース

2011年
11月号外

発行：日本共産党国会議員団愛知事務所
〒460-0007 名古屋市中区新栄3-12-27 電話052-261-3461
日本共産党の見解を紹介します。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。